

# 富山県立大学研究協力会 テーマ別研究会活動報告 第2回「ユビキタスタウン」研究会

現在、研究協力会では、3つの「テーマ別研究会」を開催しています。今回は、本年度から新たに発足させた「ユビキタスタウン」研究会(第2回目、10月21日開催)の様をお伝えします。

## ～プログラム～

1. 開会の挨拶  
第2回の主旨の説明・挨拶
2. 講演内容
  - 1) ユビキタスタウン実現のための要素技術の紹介  
無線通信技術(無線LAN、RFIDなど)  
画像認識技術の紹介
  - 2) ユビキタス検討事例：救急現場の状況
  - 3) ユビキタスプロジェクト提案の概要
3. 意見交換会・話し合い  
前回のアンケート結果など



### 【ユビキタスタウン実現のための要素技術の紹介】

- ユビキタスとユニバーサルデザインについて
- 研究事例の紹介
  - ・RFIDを使用した歩行者ナビゲーション  
(東京ミッドタウン・銀座・上野動物園・伊勢丹・愛知万博)
  - ・ユビキタスコミュニケーター実用の課題  
(専用機のレンタルと膨大な数のRFID設置)
  - ・携帯電話を使用したアプローチの可能性  
(スマートフォン・ 아이폰各機能の紹介)
  - ・無線LANのアクセスポイントを使用した位置認識  
(GPSとWiFi電波の比較)
  - ・ユニバーサルデザインの携帯電話(らくらくホン)
  - ・空気を読むことが出来る携帯電話  
(情報大公開プロジェクト・マイライフアシストサービス)
  - ・「カメラで検索ERサーチ」画像処理システム
- 今後の研究・開発について



石川高専 越野講師

### 【ユビキタス検討事例：救急現場の状況】

- 射水市消防本部組織について
- 直近5年間の救急件数の増加傾向と20年の予想
- 119入電から出場まで(直近選別)
  - ・救急現場の活動(傷病者接触～車内活動)
  - ・病院選定(一次病院・二次病院・三次病院)
  - ・病院連絡、病院到着、病院処置の流れ
  - ・時間経過の割合
- 傷病程度別搬送状況と年齢別区分搬送状況
  - ・病院問い合わせ件数
  - ・救急救命士が行う処置について(救急救命処置)
  - ・特定行為(医師の具体的指示により行なう救命処置)
  - ・救急車内の映像を病院に転送することによるメリットとデメリット
- 救急現場で本当に望まれていることは？



射水消防署 塚元主任



富山県立大学 松本教授(世話役教員)

### 【ユビキタスプロジェクト提案の概要】

- 戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)について
  - ・ICT分野の研究開発における競争的資金制度
  - ・「UNS戦略プログラムII」の目標の実現を推進
- 地域ICT振興型研究開発について
  - ・SCOPEの中の一つのプログラム
  - ・ICTの利活用により、地域の活性化に寄与する研究を支援
  - ・本プログラムに提案予定
- UNS戦略プログラムIIについて
  - ・知的創発プログラム
  - ・国際先導プログラム
  - ・安心安全プログラム
 (ユビキタス&ユニバーサルタウン)実現のための課題が提示  
 提案テーマ：ユビキタスタウン実現のためのWiMAXを活用した映像共有による生活・安心支援システムに関する研究開発
- 提案テーマの地域における位置づけ
  - ①北陸は多くのCATV業者が存在  
⇒地域に密着した各種サービスの提供・CATV業者の業態変更に貢献
  - ②北陸は観光立県  
⇒視覚障害者の移動システムは観光案内への展開が容易・観光産業振興に寄与
  - ③北陸は高高齢化率  
⇒高齢者・障害者を含めた地域住民の快適で安心生活を支援

### ～ユビキタスタウン研究会設立趣旨～

便利に安全・快適に暮らせる「ユビキタスネット社会」の実現に向けて研究開発が進められていますが、一般市民が実感出来るところまでは進んでいません。本研究会では、ICTを活用することによって、地域・生活に密着したアプリケーションの開発を促進し地域活性化に貢献することを目指しています。

### ～研究会の運営～

1. ICTの高度利活用に係る  
技術者・研究者による講演会
2. ユビキタスタウン実現のための  
要素技術についての勉強会
3. 会員相互間のICT利活用に係る  
問題、連携に関する情報交換会
4. ICT活用による新たなシステム、  
サービスに関する検討会
5. その他世話人が必要とする行事

### ～世話役教員の声～

1回目、2回目の研究会共に、幅広い分野からの参加を頂き、活発にご議論頂いたことは「ユビキタスタウン」への関心の高さが伺えます。多くの皆様と一緒に勉強し議論を深め、地域の課題解決のためのICT活用について検討し、地域の活性化に貢献していきたいと考えています。



富山県立大学  
中野教授



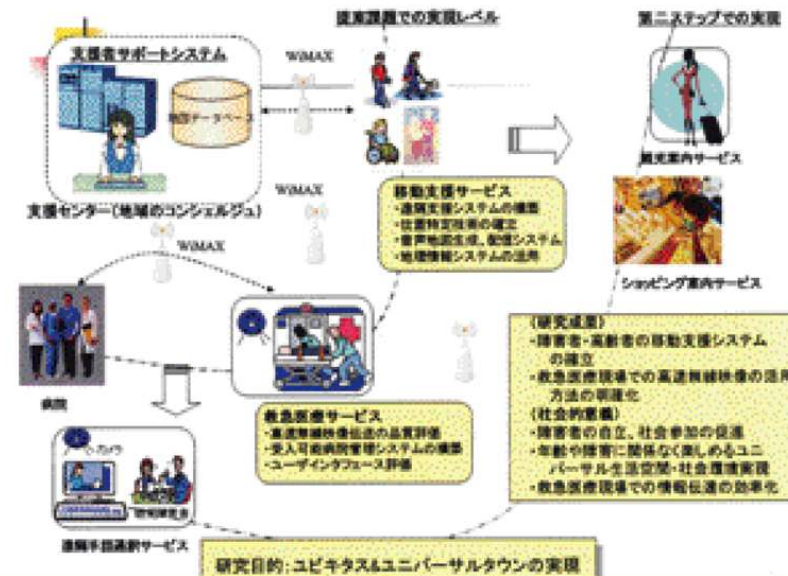
事務局  
山田コーディネーター

### ～今後の活動～

6月に研究会が発足し、10月に第2回目の研究会を開催することが出来ました。今後も研究会の運営方針に従って活動してまいります。参加者のご意見を伺いながら柔軟に活動してまいります。当面は、高齢者や障害者への活動・見守り支援などを中心にした福祉分野でのICT活用についての検討から始めます。検討結果については、国のプロジェクトなどへの提案を積極的に行ないながら、参加メンバー間の連携を強めてまいります。

<http://www.pu-toyama.ac.jp>

※イメージ図



### 会員を募集します。

富山県立大学教員と企業人が出会う気軽な「技術談話」の場を設け、産官学共同開発プロジェクトであるテーマ別研究会を発足しております。多くの会員の皆様方のご参加をお待ちしております。

### 最先端の情報を入手

富山県立大学の教員による、講演や現在活躍中の技術者・研究者の発表を通じて最新の情報を入手出来ます。

### ビジネスに繋がる研究テーマの発掘

幅広い分野の会員が集まる技術談話を通じて、新聞や新商品開拓の具体的な研究テーマを発掘し、共同研究へのステップアップを支援します。

### 公的機関からのアドバイス

公的機関や民間金融機関の各助成制度など、様々な施策活用に対する助言が受けられます。